

色素異常症、自己免疫疾患、潰瘍および角化症の患者のみなさまへ



研究課題 : 『病理学的手法を用いた皮膚疾患における幹細胞の動態解析』
研究機関 : 藤田医科大学医学部 皮膚科学講座
藤田医科大学医学部 応用細胞再生医学講座
共同研究機関 : 日本メナード化粧品(株)総合研究所
名古屋大学大学院医学系研究科 メナード協同研究講座
研究責任者 : 藤田医科大学医学部 応用細胞再生医学講座教授 赤松浩彦
分担研究責任者 : 藤田医科大学医学部 皮膚科学講座教授 杉浦一充
共同研究機関研究責任者 : 日本メナード化粧品(株)総合研究所 研究技術第1部門 部門長 坂井田 勉
名古屋大学大学院医学系研究科 メナード協同研究講座 特任准教授 長谷川 靖司
研究期間 : 令和8年3月31日(予定)

色素異常症、自己免疫疾患、潰瘍や角化症はさまざまな発症要因が関与する疾患であり、近年病態解明や治療方法に対する研究が進んでおりますが、未だ治療に難渋される患者のみなさまも少なくありません。

そこで、私たち藤田医科大学医学部皮膚科では、同大学医学部応用細胞再生医学講座と日本メナード化粧品(株)総合研究所と協力して、このような治療の難しい疾病に対して、今まで以上に治療効果が期待できる新しい治療法を開発するために研究を進めております。

今回は、現在再生医療の分野で研究が進んでいる幹細胞が色素異常症、自己免疫疾患、潰瘍や角化症の発症に対して、どのように関与しているのか基礎的な解析を行なうために、患者のみなさまの貴重な検体を使用させて頂くことについてご連絡させていただきます。本研究に必要な検体は、確定診断などの際に採取させて頂いた皮膚サンプルです。実際には既に病理検査が終了し病院に保管されている検体から、臨床症状が本研究に適している検体のみを選ばせて頂き、幹細胞について解析させていただきます。なお、正常部位の検体についても疾患の比較対照として使用させて頂く予定ですので、本研究の実施にあたって患者のみなさまにご理解頂きたい点を下記に記載しますので、よろしくご確認下さい。

応用細胞再生医学講座は、2008年4月に日本メナード化粧品株式会社より行われた大学への寄附をもとに設立され、今後の再生医療発展のための研究を目的に研究を推進しており、本研究も、その一環として行います。また、本研究の研究分担者である日本メナード化粧品株式会社の研究員が皮膚科学講座の研究生または応用細胞再生医学講座の客員教員として登録を済ませており、藤田医科大学の管理下及び研究責任者の管理下で作業を実施します。なお、本研究については、藤田医科大学利益相反委員会より、利益相反マネジメントを受けております。

対象となる患者のみなさまは、色素異常症、自己免疫疾患、潰瘍および角化症として皮膚科で診療を既に受けられた方です。

1) 研究へのご協力の任意性と撤回の自由について

今回の研究にご協力頂けるかどうかは全く自由であり、撤回も可能です。今回の研究では、1999年～現在までに、包括的な研究利用の同意を頂き、検体をご提供頂いた患者のみなさまの皮膚サンプルを利用させて頂く予定です。以前検体を提供して下さった色素異常症、自己免疫疾患、潰瘍および角化症の患者の方が対象となります。研究のより詳しい内容をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報保護やこの研究の独創性確保に支障がない範囲で、資料を閲覧していただくことが可能です。希望される場合は、担当研究者にお申し出下さい。

連絡先:皮膚科外来 電話番号 0562-93-2190、応用細胞再生医学講座 電話番号 0562-93-9027(月～金 10:00-14:00)

担当研究者:藤田医科大学医学部 皮膚科 教授 杉浦一充、応用細胞再生医学講座 教授 赤松浩彦

2) 個人情報(プライバシー)の厳重保護について

個人情報(プライバシー)は厳重に保護されます。研究結果は、様々な問題を引き起こす可能性もありますので、他の関係者にもれないように取り扱いを慎重に行う必要があります。あなたの皮膚サンプルは、解析を開始する前に住所、氏名、生年月日などを削除し、代わりに新しい符号を付けて誰のサンプルなのかを全く分からないようにした上で、藤田医科大学医学部応用細胞再生医学講座で厳重に保管・管理します。

3) 検体の運搬方法

検体を運搬する手段としては、上記2)で述べましたように個々のサンプルについての個人情報はすべて削除し、個人情報は厳重に保護した上で梱包し十分に安全を確認した上で各分担研究員が直接実験施設まで運搬させていただきます。